

老朽化した石垣を整備し、史跡の耐震性や排水性能を回復する

【対策】97 史跡名勝天然記念物等の老朽化対策

対策概要：史跡名勝天然記念物を後世に継承するため、適切な整備周期での整備により、経年劣化を補強し、適切な保存整備を行う事業に対する補助等を実施する。

府省庁名：文化庁

【事例】歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

- 実施主体：岡山県津山市
- 実施場所：岡山県津山市（津山城跡）
- 事業概要：丘陵地に所在する石垣等の史跡は、水害や地震による被害を受けやすく、崩落した土砂が民地に流入する被害も発生している。津山城跡において、孕み出しが生じる等の老朽化が確認された石垣について、一旦解体し、石垣を積み直すとともに、栗石や裏込石を詰め直し、適切な耐震性や排水性能を回復する整備を行った。
- 事業費：2.4億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.4億円)
- 効果：津山城跡では、令和4年台風14号での城内の他の箇所への被害(復元建物である備中櫓の漆喰壁剥落等)が発生する一方、老朽化対策実施済の「二の丸東側石垣」では被害が生じていない。



整備前



整備後



石垣整備：一旦解体し栗石や裏込石を詰め直し作業